

共和の郷・おだ

広報 第160号
平成29年3月1日発行

自治組織 「共和の郷・おだ」、小田地域センター 739-2207 広島県東広島市河内町小田 2182

TEL : 082-438-0166 ホームページ <http://kyouwanosato-oda.com/admin>

E-mail mail@kyouwanosato-oda.com

第17回生涯学習発表会 3月12日(ご案内)

「学びあい小田の文化をつなげよう」をテーマ
に開催します。作品展示や活動発表、お宝発
見パートIVなど楽しい行事が盛りだくさんです。

当日は、無料の「うどん」や、「寄りん菜屋」
のお寿司など販売されます。

ぜひご来場ください！

日時 平成29年3月12日(日)

午前9時30分 開会

場所 小田地域センター

《おだ史跡調査会からお願い》

小田史跡調査会では、小田地域の昔の暮らしをたどる歴史資料を集めて展示します。
昔の生活用品や、古い書き物(古書、教科書、写真など)を3月9日までに小田地域センタ
ーへお出しくださるようご協力をお願いいたします。

資料がありましたら取りにうかがいます。電話 438-0166



子ども神楽(昨年)



カントリーエコーズ(昨年)



作品展示(昨年)

(自)「共和の郷・おだ」文化教育 部長船附 明、小田地域センター

農事組合法人ファーム・おだ

第12回通常総会盛大に開催される（2月26日）

「農事組合法人 ファーム・おだ」では、第12回通常総会に来賓として衆議院議員、経済産業大臣政務官の中川俊直様を始め県議会議員下原康充様、東広島市長藏田義雄様、市議会議員高橋典弘様並びに乗越耕司様、広島中央農業協同組合代表理事組合長河野孝行様の来賓出席のもと盛大に開催されました。

組合員の皆様方多数の出席と事業推進に多大のご支援、ご協力があったこと、あわせて11回目の経営を大過なく無事終了し、第12回通常総会を無事開催できたことに対し、吉弘組合長から組合員の皆様へお礼と感謝の言葉がありました。

また、提出された議案は、全て賛成多数で原案通り可決成立いたしました。内容は、昨年1月20日には、皇居宮殿に招かれ天皇皇后両陛下に拝謁の栄に賜り、天皇陛下から「今後は、農林水産業に携わる人々のために励ましとなるよう一層の活躍を願っております」と心温まるお言葉を賜ったことについて拝謁の報告がありました。

県内外や海外からの視察者も急激に増加し、平成28年度では72団体約1,000名の視察が有りました。法人設立以来では、345団体、5,300名の視察者数となりました。小田地域が全国に広く知られるようになりました。

さて、平成28年度の決算報告では、①総収入額18,282万円（前年比108%）集落還元額（地元に落ちた金額）7,623万円（112%）組合員1戸当たり51万円となりました。②堆肥による土づくりを行い、野菜や酒米など契約栽培を行っていること、③米粉パン工房「パン&米夢」や精米加工して直接販売していること。④最大の増収要因は、交付金や補助金等8,693万円の営業外収益を活用したこと等であります。

今後は、高齢化の進展で畦畔の草刈りや水田の排水対策、鳥獣害対策が問題となりますので、よりよい方策を試験研究機関といたいたいとなり取り組んで参ります。

ファーム・おだの更なる進化・発展のため一層の努力と、小田地域が元気になることを目指し、これからは10年先の目標であります「小田未来創生図＝ビジョンマップ」の実現に向けて、最終目標であります「誇りのもてる、住みよく、楽しく、明るい農業」の実現に努力する決意が述べられました。

1.基本方針

- (1) 人・農地プランの中心経営体としての役割を果たし、高齢化による優良農地の維持管理ができなくなった農地を法人の方針に従って前向きに検討し、10年の利用権設定による規模拡大を引き続き行う。
- (2) 消費者に安全・安心な美味しい農産物を供給するため、特別栽培農産物など「こだわった農産物」を基本に50%以下の減肥、減農薬栽培を行い、



吉弘組合長

- トレーサビリティ（取引の記録と保存）と食品の品質表示基準を厳守する。
- (3) 地産地消を推進するため、学校給食センター等に安定供給ができる野菜栽培や米粉パンの製造販売を更に促進し、併せて米の消費拡大を図る。
- (4) 栽培面では、組合員による畦畔の草刈及び水管理の徹底を図り、除草効果を高め、中干しによる倒伏防止や適期刈取りで更なる品質向上と収量の増収を図る。
また、草刈作業の軽減化のため、小型除草ロボットの早期開発商品化を引き続き提言する。
- (5) 平成 26 年から実施している「革新的技術緊急展開事業」を実施し、鉄コーティング湛水直播栽培、飼料用多収穫品種栽培、大豆の 2 年 3 作による難防除雑草の除草技術、畦畔太陽光発電シートの早期設置、シバ植生転換による畦畔管理技術の課題を早急に解決する。
- (6) 耕畜連携による、稲わらの早期収集・貯蔵を行って、畜産農家に良品質の稲わらを供給する。また、100%の米粉パンの研究開発を検討する。
- (7) 作業計画を綿密に行い、適正人員配置による適期作業と作業の効率化を図る。
- (8) 農機具の整備点検を徹底し、修繕費の低減を図る。

2. 事業計画	作付け面積	94.4ha	
(1) 水稻作付け計画		54.4ha	田植予定時期
コシヒカリ（普通）		23ha	4月25日～5月4日
あきろまん		4.4ha	5月17日～5月20日
ヒノヒカリ		25.2ha	5月10日～5月15日
ヒメノモチ		1.2ha	5月8日～5月9日
恋の予感		0.6ha	5月8日～5月9日
(2) 転作計画（42%）		40ha	は種予定時期
大豆		17.8ha	6月20日～7月10日
そば		1.8ha	8月20日～25日
小麦		8.3ha	11月17日～30日
野菜他		2.6ha	1月～12月
新規需要米（米粉・飼料米）		5.4ha	6月1日～6月7日
酒米山田錦		4.1ha	5月10日～5月15日

3. 行事計画

- (1) 第32回小田営農田植えまつりの開催。（5月）
- (2) 第32回小田収穫まつりの開催。（10月）
- (3) パントマイム5周年誕生祭（5月）
- (4) 各組毎の懇談会の開催。（4月）
- (5) 各種イベントへの参加。

以上、報告といたします。

農事組合法人ファーム・おだ 総務部長 谷平和則

小田ビジョン「おだ福祉カー」に係る 先進地視察の報告(2月9日報告)

福祉ふれあい部と白竜部では、小田ビジョンに掲げる「おだ福祉カー」の運行に関し、24人の参加をいただき、福山市新市町常金丸学区福祉を高める会が運行する「高齢者おでかけ支援事業」の視察研修を行いました。

一人暮らしや高齢者のみの世帯の増加、バスの便が少なく移動手段をもたない高齢者の通院等の不便さから、福山市のモデル学区に指定され、市の委託事業として行っておられます。

利用車両は市のリース車両(3年間)を活用し、通院や交流館で行う事業への参加、敬老会、講演会などへの移動支援を行っておられます。この事業の実施団体は、平成21年に常金丸学区高齢者おでかけ応援隊(ボランティア)を結成し運行され、H27年度実績では、運行日数194日、1771人の方が利用されているそうです。この研修に参加された方は、「おだ福祉カー」の実現に向け有意義な研修であったと言っておられました。この度の視察を受け入れてくださり、丁寧な説明をしていただいた常金丸学区福祉を高める会の皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。



熱心に研修を受けています



全員で記念撮影



説明する 永久会長

(自)「共和の郷・おだ」福祉ふれあい部長 秋山勝義/白竜部長坂井敏文

ありがとうございました。

ご寄付は自治組織「共和の郷・おだ」の活動のため、有効に活用させていただきます。

香典返し 1月 若狭雅宏 様

自治組織「共和の郷・おだ」 会長 住原正弘 福祉ふれあい部長 秋山勝義

健康づくり教室 (2月22日報告)

健康づくり教室は、介護予防に効果がある、
ロコモーション体操を取り入れ腹部、太もも、ふ
くらはぎなどのストレッチの学習をしました。

来年度も5回の教室を開催する予定です。

第1回目5月23日、第2回目7月25日・・・

順次郷たよりでお知らせします。

お気軽にご参加ください。



講師：酒井先生



教室の様子

(自)「共和の郷・おだ」 白竜部、小田地域センター

小田一周駅伝競走大会中止(2月5日報告)

42回目を迎える駅伝競走大会は、当日雨天の予報により大会役員会において中止の決定をいたしました。本大会参加チームの皆様には、練習等積み重ね楽しみにされておりましたが、次回への参加をお願いいたします。

本大会運営にご支援ご協力をいただきました大会役員、地域の皆様に厚くお礼申し上げます。今後ともよろしくお願ひします。

(自)「共和の郷・おだ」体育健康部長 吉森和弘

視察を受けました

本自治組織が行う地域づくり活動について研修、意見交換をしました。



大分県中津市議会の皆様 2/8



沖縄県南城市自治会の皆様 2/12



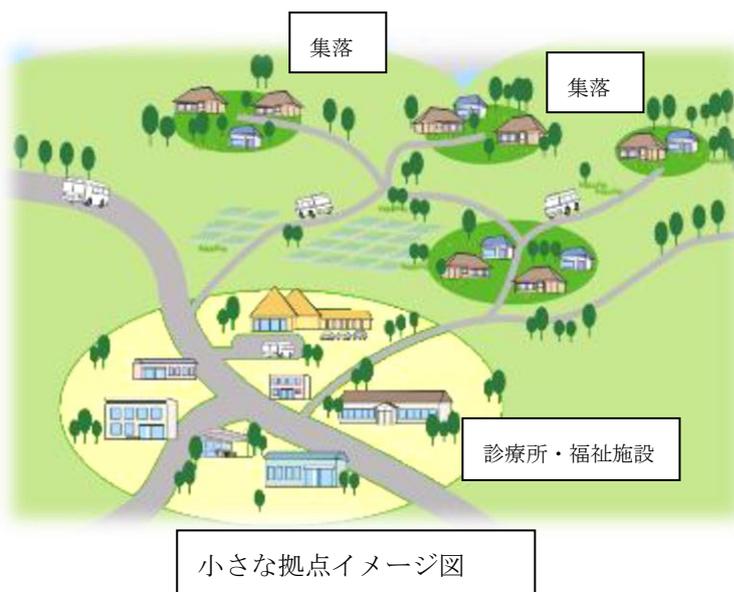
山形県 東北公益文科大学の皆様 2/13

「小さな拠点」フォーラムに参加して(2月21日報告)

山口市において「小さな拠点」づくりのフォーラムが国土交通省主催、内閣府地方創生推進事務局、中国地方知事会共催で開催され、中国地方5県から約200人の参加がありました。

「小さな拠点」の必要性、創り方等の基調講演の後、先進地域の実践発表が行われ、続いてパネルセッションが行われました。

内閣府の調査で「小さな拠点」の形成状況は全国約30%で、鹿児島県、島根県、熊本県が多く広島県は4番目に位置しています。



小田では13年前に自治組織「共和の郷・おだ」が設立され、その後東広島市内すべての小学校区で住民自治協議会が設立されています。13年前当時の小田の動きが今全国的に広がっていると考えられます。先輩役員の実力で他の地域より少し先を歩んでいると思われま。

(自)「共和の郷・おだ」を振り返り

13年前を振り返ると、小田小学校の廃校、保育所、診療所の閉所とこのままでは、過疎化が進み集落の存亡が懸念された。そこで自治組織「共和の郷・おだ」を設立し、小学校跡を活用し、(自)「共和の郷・おだ」(「小さな役場」のような組織)の事務局、公民館(現:地域センター)、診療所の移設等お願いをするなど活動をしてきた。

8部会(総務企画部、農村振興部、～)の活動では、特に農村振興部を母体に(農)ファーム・おだが発立され(「小さな農協」のような組織)、さらに米粉パン工房(パン&米夢)が造られた。

ビジョン策定委員を公募し、小田全戸のアンケート調査の結果や地域のみなさんの声をまとめて小田の「未来創生図」(7本の柱と77項目からなる)が創られた。その具現化に向けて「歩道の延長」、「炭焼き小屋」、「ゆずの里づくり」、「おだ福祉カー」等取り組んでいます。

小田地域では、各種の行事や「未来創生図」の実現に向けて「小さな役場」「小さな農協」のような組織が連携(新2階建て方式)し取り組んでいるところが特色です。

小田地域の各組織や様々な活動が広報「共和の郷・おだ」たよりと共にホームページへも掲載し、情報発信をしています。当ホームページを見られ各方面から視察に来られています。

(自)「共和の郷・おだ」では今年になって1月大分県日田市自治会、2月大分県中津市議会行政視察、沖縄県南城市自治会、山形県酒田市東北公益文化大学などから視察に来られました。

平成29年度に向けて、お互い協力し合って取り組んでいきたいものです。
ご支援 をよろしくお願ひいたします。

(自)「共和の郷・おだ」顧問 瀬川豊茂